

真宗大谷派 吉崎別院



ほうおんこう 「報恩講」

報恩講は私たち真宗門徒にとっては一年で最も大切で中心となる仏事として勤められています。第3代覚如上人が「報恩講式」を記され、聖人一流を旨とされた蓮如上人の御働きによって、寺院、同行まで現在のような報恩講が広く勤められるようになりました。報恩講をお勤めする中で、「如来大悲」の教えに私自身を尋ねてまいりましょう。

日 程： 7 月 2 4 日（木）～ 2 6 日（土）

	晨 ^{じん} 朝 ^{じょう}	日 ^{にっ} 中 ^{ちゅう}	逮 ^{たい} 夜 ^や	初 ^{しょ} 夜 ^や
24日	—	—	13時30分～ 輪番挨拶	16時～
25日	7時～	10時～ 法話	13時30分～ 法話	御伝鈔 拝読後
26日	7時～	10時～ 法話	—	—

※25日のみお斎（昼食）の準備がございます。

※25日逮夜のご法話終了後、御伝鈔の拝読がございます。

講師 摩垣 淨心師 （25日日中～26日日中）
福井教区 佛言寺住職

お問合せ：真宗大谷派吉崎別院 ☎0776-75-1904（9：00～16：30）